

平成31年1月9日発行
秩父市教育委員会



秩父市コミュニティ・スクールだより

「地域とともにある学校」を目指して

No.12

学校運営協議会にお邪魔しました。

平成30年12月14日（金）、秩父第二中学校で第2回学校運営協議会が開催されました。秩父市教育委員会では、学校教育課職員2名が同校を訪問しました。

今回の訪問から、特に「熟議」を中心にご報告いたします。

2校時の授業を参観させていただいた後、校長室で会議を行いました。

学校側から、学校経営の進捗状況、学校評価、学力向上の取組、生徒指導の状況等の説明があり、引き続き、「熟議」が行われました。

司会と記録それぞれの役割を委員の中から選出し、話し合いが行われました。（※）

今回の「熟議」のテーマは、「どんな子どもたちに育てて欲しいか」でした。

初めは、授業を参観した感想等が出されましたが、次第に各委員の口調も滑らかになり、活発な話し合いが行われました。

特に、学校評価の中の項目にある「子どもたちの自尊感情を高める」ことの大切さに関して多くの意見が出され、話し合いを深めることができました。

和やかな中にも真剣な話し合いが行われ、委員の皆様もよい話し合いができたという満足感を持ったようです。



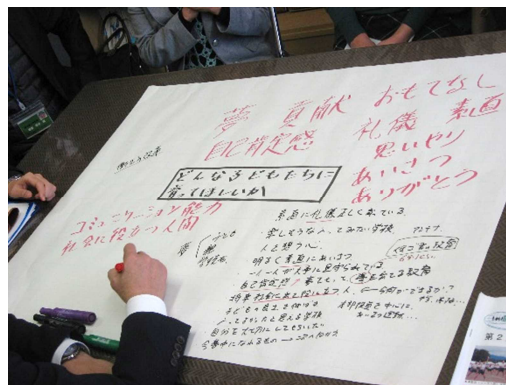
（授業参観の様子）

※ 学校運営協議会は会長が招集し、議事に関しては、会長が議長を務めることが秩父市の学校運営協議会規則で定められています。

この「たより」は秩父市の皆様に、「コミュニティ・スクール」を知ってもらうためのものです。

「熟議」はコミュニティ・スクールにとって、今後取り組むべき重要な課題です。話し合いを通して課題を共有することが第一の目的ですが、話し合いを通してお互いの立場や考えを理解すること、さらに話し合いのスキルを高める効果もあります。

最後に訪問させていただきました秩父第二中学校の校長先生はじめ教職員の皆様、学校運営協議会委員の皆様に御礼申し上げます。



学校運営協議会（熟議の様子）

「熟議」のスキルを身に付ける

「熟議」のためのスキルを身に付けるためには、そのための訓練も必要です。司会や記録の係を固定しないで、その都度参加者に役割を割り当てたり、必要に応じて、模造紙・ペン・ストップウォッチ等を用意します。（二中では模造紙とペンの準備がありました。）

また、ファシリテーターの役割が大変重要になります。ファシリテーターとは、議論の進行状況にあわせ、参加者の意見を中立的な立場で引き出し、合意形成に導く進行推進役です。ファシリテーターは司会者であるとは限りません。

学校運営協議会、順調に運営されています。

2学期終了時までには、市内すべての小・中学校で第2回までの学校運営協議会が実施されました。第3回、第4回まで実施された学校もあります。

各校独自の取組をしています。学校運営協議会の実施内容や今後の開催などは、各校HPをご覧ください。

秩父市教育委員会学校教育課

電話 0494-25-5228 ホームページ <http://www.city.chichibu.lg.jp/1900.html>